



ケニア国港湾道路建設事業に関するコンサルタント業務の受注について
～ 阪神高速道路(株)初の海外機関業務受注 ～

阪神高速道路(株)他2社は、今般、ケニア共和国における円借款事業「モンバサ港周辺道路開発」にかかるコンサルティング業務を受注し、**1月7日付けでケニア国道公社との契約が成立しました。**

阪神高速道路(株)が海外機関から直接業務受注するのは初めてのケース(これまでの実績は国際協力機構(JICA)発注業務4件)となります。

業務概要

対象国：ケニア共和国

発注者：Kenya National Highways Authority (ケニア国道公社)

受注者：(株)片平エンジニアリングインターナショナル、(株)オリエンタルコンサルタンツ、阪神高速道路(株) 共同企業体

受注金額：約 27 億円 (1,162,780,000 円 + 1,620,054,500 ケニアシリング)

履行期間：2013年2月より96ヶ月間

業務内容：モンバサ港周辺道路建設にかかるコンサルティング・サービス(詳細設計、入札補助、施工監理、道路維持管理にかかる能力強化)。このうち、阪神高速道路(株)は「道路維持管理にかかわる能力強化」を担当。

今回の受注の背景

本業務は東アフリカの物流拠点であるケニア共和国のモンバサ港周辺での円借款による道路整備において、その詳細設計、施工監理等コンサルティングを行うと共に、道路完成後の維持管理を良好に行うための道路管理者側の能力強化が期待されているものです。

このため、**プロポーザルにおいては、道路維持管理に関し、道路事業者として長年培ってきたその経験と技術力が高く評価されました。**



ケニア国の道路風景